

吉井産業 株式会社

ワンランク上のクオリティ オーダーメイドパッケージ

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



弊工場のグラビア印刷機と自動検知システム

主な事業内容

食品用フィルムをはじめとする
包装資材の企画、製版、印刷などの一貫体制

主な取引先(納入先)

食品メーカー

主な製品

うどん用軟包装、豆腐用軟包装、
その他(惣菜やカット野菜などの包装)

業務内容

**食品用包装資材を得意とし、
大手量販店からも受注**

昭和36年の創業以来、食品用フィルムをはじめとする包装資材を取り扱ってきた。なかでも、うどんや豆腐用の軟包装、カット野菜、総菜用の包装が得意で関西では高いシェアを占める。約60年培ってきた技術や実績、品質保証などが高い信頼を得て、大手量販店のプライベートブランドの食品用フィルムに採用されている。平成4年にグラビア印刷を手がける弊工場(大阪市平野区)を稼働。前川晃一社長は印刷の内製化を進めるとともに「生産管理システムを導入し、顧客の短納期に対応する」と語る。同17年に現本社に移転、同26年には、中部営業所(愛知県東海市)を設け、中部地域にも営業範囲を拡大している。

強み 商品企画とデザイン 熟練の職人技で総合力発揮

商品企画の段階から、市場調査、競合商品の分析、素材・形態などを提案。制作から印刷、納品まで一貫体制を整える。本社に企画室を設置し、3人のデザイナーが試作段階から顧客の商品に対する思いやこだわり、特徴を反映することで、売れる製品のパッケージデザインを迅速

特殊印刷 創業以来培った技術で 独自フィルムを提供

に提案する。また生産部門は熟練の職人による「色合わせ」と呼ばれるインクの調合が得意で、顧客のイメージ通りの印刷色を再現する。熟練した職人の技で色を数パーセント単位で配合し、再現できない色はないという。現在、この職人技のデータ化を進めている。印刷しながらインクの飛びや傷など自動検知するシステムも導入し品質管理を高めている。

約60年培った技術や経験を生かし、顧客の要望に応じた特殊印刷による食品用フィルムを生み出している。例えば顧客である豊国ヌードル(株)(奈良県大和郡山形市)と共同開発した独自の印刷手法による「包装用梨地調感フィルム」は、低コストで、プラスチックフィルム特有の光沢を消して紙に印刷したような高級感を出すことができるのが特徴だ。実用新案登録済みで、通常、印刷物の表面保護などに用いるメジウムという透明インクに少し色を入れることで、メジウムを印刷した部分の光沢を消し、高級感をもたらす。これまで、市場においてうどん用パッケージにはこのように光沢を消したフィルムは使われておらず、同社の独自製品となっている。

社長あいさつ



代表取締役社長
前川 晃一さん

当社の社訓は「感謝の心を耕せ」「仕事は細心であれ」を掲げています。取引先様や関係各位に深く感謝し、お客様が買いたいと思う顧客満足の高い包装商品を世に出します。今後は5年以内をめどに本社と現工場を統合し移設拡張を計画。最適な環境下で事業拡大していきます。

主な保有設備

- 4色グラビア印刷機
最大約900mm 60m/分 1台
最大1,100mm 60m/分 1台
- 6色グラビア印刷機
最大1,100mm 60m/分 1台

大阪
01

住 所 / 〒547-0042
大阪市平野区
平野市町2-4-26

T E L / 06-6793-7800

F A X / 06-6793-7767

創 業 / 昭和36年12月

設 立 / 昭和36年12月

資本金 / 2,000万円

従業員 / 32名



各食品フィルムのサンプル



企画室のデザイナーによる製作風景



<http://www.yoshiisangyou.com/>